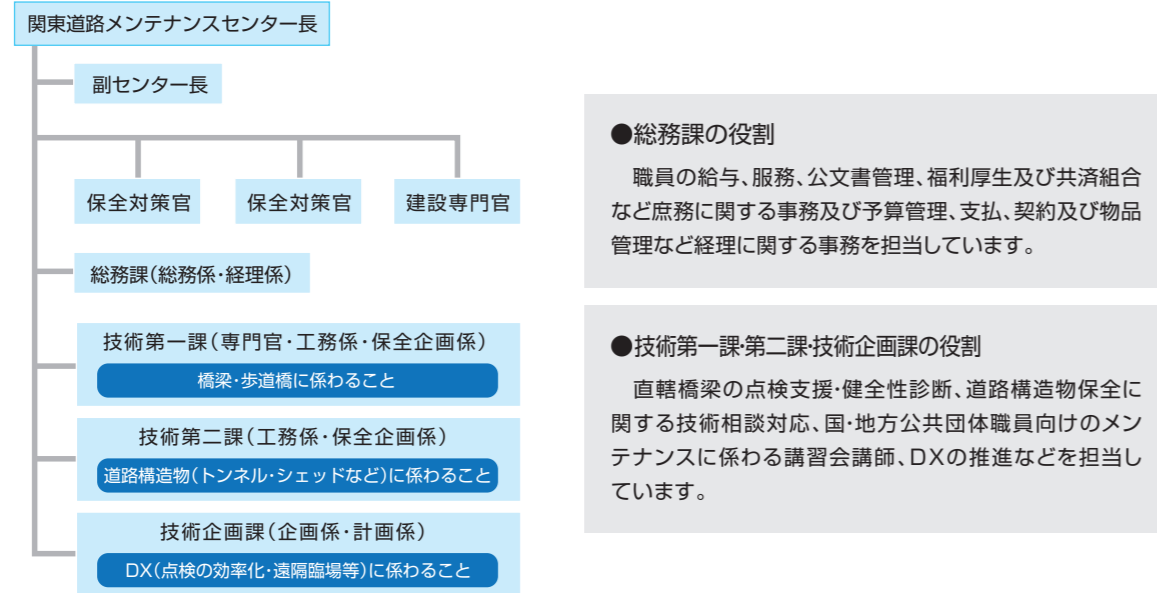


関東道路メンテナンスセンターの組織の構成



交通アクセス



建物外観

- 公共交通 利用の場合
JR線・東武アーバンパークライン・埼玉新都市交通ニューシャトル「大宮駅」東口から徒歩10分
- 車でお越しの場合
首都高速埼玉新都心線「新都心西」出口から、約10分
※駐車場がありませんので、付近の有料駐車場をご利用の上、お越しください。



国土交通省 関東地方整備局 関東道路メンテナンスセンター
〒330-0843 埼玉県さいたま市大宮区吉敷町1丁目89番地1 タカラビル2階
TEL 048-729-7780 / FAX 048-729-7790

道路のメンテナンスに係わる相談

ホームページのお問い合わせフォームや電話にて、お気軽にご相談ください。

情報発信中!



関東道路メンテナンスセンター



ホームページ



Facebook



X



事業概要



今も、そしてこれからも
道が道であるために



国土交通省 関東地方整備局
関東道路メンテナンスセンター



私たちの使命は

この先50年後、100年後も

道路が道路として、その機能を維持し続けること

関東道路メンテナンスセンターの主な役割

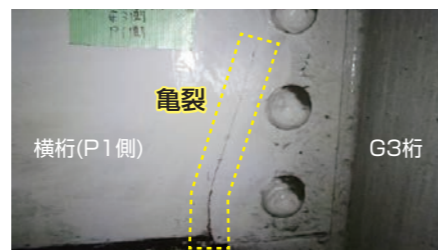
- 社会資本の老朽化対策を強化するため、点検データ等を活かした、より戦略的・効率的なメンテナンスを推進
- 橋梁等の健全性の診断のほか、蓄積されたメンテナンスデータの管理・分析等による道路メンテナンスの高度化を推進
- 地方公共団体支援として、道路構造物の保全に関する相談への対応、施設の健全性の診断・修繕の代行等を実施

橋梁診断

橋梁に係る維持管理を適切に行うために関東地方整備局管内の各国道事務所が実施している定期点検において、健全性の診断、措置方針の参考となる対策区分の判定を行っています。



橋梁の健全性診断の様子



健全性IV(緊急措置段階)の損傷例

橋梁の健全性診断における判定区分

区分	状態
I 健全	道路橋の機能に支障が生じていない状態。
II 予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III 早期措置段階	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV 緊急措置段階	道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。



Web会議システムによる診断会議の様子

直轄構造物の技術支援

関東地方整備局管内の各国道事務所が管理する橋梁等の道路構造物に不具合が見られた場合に、要請に応じて現地調査や技術的助言など支援をしています。高度な技術が必要な構造物の補修設計のほか、トンネルについても、点検・診断、補修結果の収集整理、損傷・劣化要因分析等を行い、点検・診断の品質向上を図っています。

直轄管理橋梁への技術支援



現地調査の状況



BIM/CIMを活用した設計事例

路面下空洞調査

路面の陥没による道路利用者への被害を防ぐため、直轄国道上において、地中レーダー技術により道路下の空洞を探查する路面下空洞調査及び調査結果のとりまとめを実施しています。

路面下空洞調査の流れ

1次調査

路面下空洞探査車
(道路調査車)による調査



2次調査

スコープ調査



調査データを
日常の道路管理業務
や空洞調査計画に
フィードバック



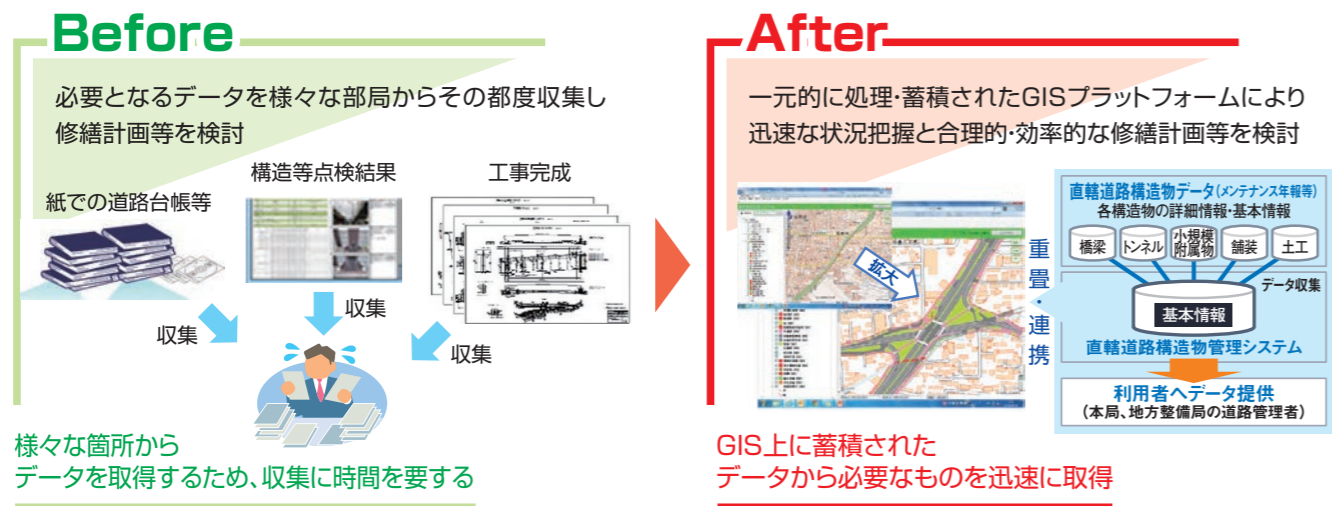
路面下空洞調査により発見された空洞の事例

DXの推進

関東地方整備局ではインフラ分野のDXにより、建設現場の生産性向上、働き方改革を推進することを目的に、様々な取組みを実施しています。関東道路メンテナンスセンターでは道路の維持管理に関する分野について、DXの取組みを推進しています。

GIS(地理情報システム)を活用した取組み

GISプラットフォームを構築し、維持管理データ(点検等)等各種データの重ね合わせを一元的に処理・蓄積することにより、維持管理、修繕、災害対策等の効率化を図ります。維持管理データや災害対策等の情報を共有できる環境を実現し、また、それを活用することで、効率的な業務執行、意思決定の円滑化を図ります。



AI(人工知能)を活用した取組み

変状や補修補強部の画像を入力し、画像検索AIが過去のDB(データベース)から類似画像を出力させ、点検・診断の参考とすることができ、技術者による点検診断結果のばらつきを押さえ、成果品の品質向上に資する取組みです。



地方公共団体への支援

技術相談

直轄国道における橋梁等の診断業務にて培ったノウハウを活用し、地方公共団体向けの技術相談を行っています。地方公共団体が管理する橋梁等に不具合がある場合等、相談内容や要望に応じて、現地調査などを行います。

地方公共団体からの技術相談の流れ

相談受付・事前確認

地方公共団体からの技術支援の相談

電話もしくはメールで問い合わせを受け付けています。「橋梁点検の診断結果が正しいか、教えてほしい。」「補修方法を選定したいが、わからない。」「委託業者の報告が正しいか、教えてほしい。」など、様々な相談が寄せられています。

地方公共団体との事前調整

相談受付後、担当者から速やかに回答します。不安や悩みに合わせた支援をするために、相談内容及び資料(橋梁台帳など)を確認しながら、現地調査に向けて準備を一緒に進めていきます。

現地調査

現地では、当日の環境に応じて橋梁や道路の状況を細かく調査します。その際、ドローンや全天球カメラを使用し、多角的に現場状況の把握に努めます。



回答

現地調査が不要な場合は、点検調書などのいただいた資料を参考に、メールなどにより回答します。

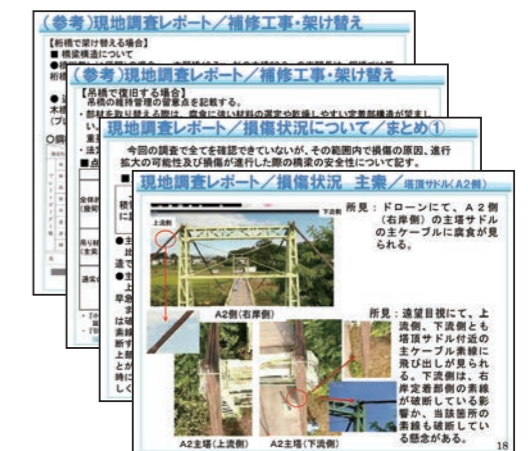
打ち合わせ

必要に応じて打ち合わせを行い、点検のポイントなどについて技術助言を行います。なお、WEB会議システムによる打ち合わせもしています。



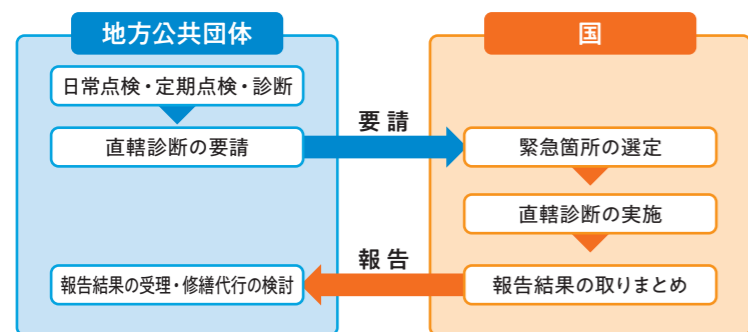
調査報告・技術的助言

調査終了後、損傷などの有無に係わる結果と、それに至った原因の推測、今後の対策などをまとめたレポートを提供しています。



直轄診断

本来、道路構造物は各道路管理者が責任をもって管理することが原則ですが、地方公共団体が管理する橋梁で、緊急かつ高度な技術力を要する可能性が高いものを対象に、「道路メンテナンス技術集団※」を派遣し、技術的な助言を行います。 ※該当地域の地方整備局、国土技術政策総合研究所、独立行政法人土木研究所の職員で構成



直轄診断の仕組み



秩父橋(埼玉県秩父市)における直轄診断の様子

修繕代行

直轄診断及び調査報告を行った道路構造物の修繕工事等について、地方公共団体からの要請があり、かつ、高度な技術力を要する場合などに、修繕代行を実施します。

秩父橋(埼玉県秩父市)における修繕代行



浸食箇所の対策と水路の設置



コンクリートの補修



橋面の防水



修繕代行完了後の様子

研修講師

地方公共団体が主催する研修等の講師として、職員を派遣しています。座学講習や現場実習など地方公共団体のご要望に合わせた研修を通して、知識や経験をお伝えします。



道路構造物管理実務者(橋梁初級I)研修 ※関東地方整備局主催(千葉県柏市内)



直営点検に向けた模擬点検(東京都青梅市内)

災害支援

関東地方整備局のTEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)の隊員として、関東道路メンテナンスセンター職員が現地調査等を実施し、技術的助言を行っています。



令和元年台風19号における災害派遣の様子(長野県東御市・海野宿橋)



技術支援をした地方公共団体数(令和6年3月下旬現在):56団体(1都9県)

技術支援を受けた地方公共団体の声

関東道路メンテナンスセンターの職員が市役所に来ていただき、座学と実務の講習を受けることができました。具体的かつ実践的な内容で、職員の技術力が向上しただけでなく、これをきっかけに関東道路メンテナンスセンターに他の相談もしやすくなりました。



秦野市

関東道路メンテナンスセンターの職員が現地に来ていただき、様々な部材を詳細に調査してもらいました。また、近接目視できない箇所はドローンを使って確認してもらったなど、積極的な調査をしてもらいとても助かりました。調査レポートもとても読みやすいもので、職員にとってわかりやすく参考になるものでした。



秩父市

技術支援窓口連絡先 TEL:048-729-7780(代表)

技術相談を含めた技術支援の要望は、随時受け付けていますので、お気軽にお問い合わせください。 ※市町村の皆さまにつきましても、直接受け付けていますので、遠慮なくお問い合わせください。

相談や現地調査、研修講師に係る費用はかかりません。

※ただし、技術支援の内容によって、他団体(国総研など)の協力が必要となった際は、費用負担が生じる場合があります。